



## 感謝のうちに無事修学旅行終わる

コロナ禍、様々な学校行事が中止や延期を余儀なくされていく中、6年生が最も楽しみにしていた「修学旅行」…。様々な不安を抱えながらも、多くの方々のお陰で、全員が元気にすべての日程を終えて無事に帰ってくることができました。

6年生の先生を中心に、計画の段階から旅行会社や訪問先と入念な打ち合せ・準備を行い、子供たちも事前の平和学習はもちろん、修学旅行に行くことの意味をみんなで共有し、協力

すること「ONE TEAM」を合い言葉に準備を進めてきました。そして、何と言っても、このコロナ禍 我が子を修学旅行に送る保護者の方々の思いは想像に難しくありません。

しかしながら、行く先々で延小6年生は、一人ひとりの「自覚」と「思いやり」ある行動で、それぞれの目的を十分に達成して帰ってきました。この修学旅行は、80名の子供たちにとって貴重な経験であったと信じています。この経験を礎に、卒業まで後5ヶ月余り…。

「小学生としてのまとめ」と「中学生への準備」をしていって欲しいと思います。保護者の方々、これまでのご協力ありがとうございました。



## 5年生

## 自分たちで作り上げた「なんちゃって英彦山」



5年生の「英彦山 宿泊体験学習」はコロナ禍の今年、実施ができませんでした。

そこで、それに代わる体験学習を子供たちに経験させたいという思いから「なんちゃって英彦山」を企画しました。

本来ならば、英彦山で山登りやフィールドワークなどの活動を行うのですが、学校でできる活動をあれこれと考えていきました。

この発案こそ担任でしたが、あとは子供たちが計画から運営まで自分たちで作りに上げていきました。

本番当日の10月15日（木）、5年生61名のそれぞれが、集団の一員として協力し責任を果たしながら、1時間目から6時間目までレクリエーションや制作活動、キャンドルのつどいなど…たくさんの活動に取り組みました。

やり遂げた子供たちの表情には、安堵感や満足感、達成感などが満ちあふれていました。

この経験を、延永小学校のサブリーダーとして、これからの学校生活の中で生かしていって欲しいと思います。



**秋**の交通安全運動は、先月末に終わりましたが、今月に入って、延小児童の登下校時の交通マナーについて、地域の方々から何件かご連絡をいただきました。道いっぱいに広がって歩いているので危ない。…つと言つのが最も多い声ですが、車を運転する側からすると、子供の予測不能な動きは、本当にハラハラするものです。特に、低学年の子供たちにとって、登下校時の通学路は、興味や関心をそそる人や物がたくさんあります。

学校でも指導をしますが、ご家庭でも、車には十分注意をするよう、声をかけてあげてください。

「やうげこう  
おしゃべり、はみだし  
あぶないぞ」